経済教室

私見 卓見

教育旅行、安全管理の意識高めよ

大阪観光大学名誉教授　鈴木　勝

同志社国際高校の研修旅行で沖縄県辺野古沖で船が転覆し、高校生が亡くなった。主催者である学校側の説明を聞き、ツアーの目的である「平和教育」以前に、最も重要とされる「安全管理意識」の低さに失望した。

最近、少子化時代を反映し、高校や大学では特色ある教育旅行を前面に出した学生募集の競争が激しくなっている。教育関係者は安全管理意識をさらに高める必要があるだろう。

企画の是非や事故船の責任追及は別にし、まず主催者の安全管理の意識が問題となる。この意識があれば防げた事故だったと思う。安全管理の意識があれば、今回、教員と船側の約束ではなく、旅行本体に含めるツアーにすべきだったのではないだろうか。プロの旅行会社が登録船を使えば事故を回避できた可能性は高く、添乗員同行も旅行保険も心配ない。別途、辺野古に詳しい人にガイドを頼めば、主催者の望む海からの辺野古見学を実施できたはずだ。

研修旅行の事故に関しては、「自由行動や別行動時に注意せよ」と専門家の間でよく指摘される。今回の別行動は現地で急きょ実施された訳ではない。これまでに数回の実績があり、安全管理を再点検する余裕はあっただろう。

安全管理の意識を高めるために、主催者はマニュアル作成に満足せず、常日頃から安全管理意識を徹底しなければならない。毎年、教員と学生対象の説明会を開催し、北海道・知床の観光船事故といった近年の事例や旅行保険の説明を行う。種々の研修が実施される場合、担当教員相互の意見交換会も重要だ。危機管理コンサルタントと契約してもよいだろう。

また、主催者には旅行契約形態の知識も求められる。旅行者の要望に合った「受注型企画旅行」は旅行者の依頼に従い、旅行会社が旅程を作成、提案、実施する企画旅行だ。これは旅行会社が手配に責任を持つ。この知識を持ち、受注型企画旅行にしていれば、今回の事故は防げたかもしれない。

そして、旅行会社の選定も重要だ。旅行代金の安さや会社の規模以上に大切なポイントは、常日頃から気軽に相談でき、専門的な助言を受けられる関係を築いているかである。

当欄は投稿や寄稿を通じて読者の参考になる意見を紹介します。〒100-8066東京都千代田区大手町1-3-7日本経済新聞社東京本社「私見卓見」係またはkaisetsu@nex.nikkei.comまで。原則1000字程度。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記。添付ファイルはご遠慮ください。趣旨は変えずに手を加えることがあります。電子版にも掲載します。

日経電子版 オピニオン
@nikkei_OPINION

沖縄への教育旅行で船が転覆し、生徒が死亡する痛ましい事故がありました。鈴木勝さんは学校側の安全管理の意識の欠如が事故につながったと指摘しています。#私見卓見



nikkei.comから

午前7:00 · 2026年4月14日 · 328 件の表示